



**成熟社会をむかえて**  
 ~医師の卒前教育・卒後研修・  
 生涯学習雑感~

琉球大学医学部附属病院  
 沖縄県地域医療支援センター  
 副センター長 川妻 由和

日本は、20世紀の「成長社会」から21世紀になり「成熟社会」に入ったと言われます。経済的に見ると、日本銀行が供給する通貨（マネタリーベース）が1990年代（平成一桁）の50兆円台から平成29年平均では458兆円台へと数倍以上に大きく増加しているにもかかわらず、消費者物価指数（CPI）および名目国内総生産（GDP）のいずれもほとんど増加していない、つまり生産活動も消費も増加せず、お金は金融資産に流れていると言えます。

「成熟社会」とは英国の物理学者ガボールの著書に由来し、量的拡大のみを追求する経済成長が終息に向かう中で、精神的豊かさや生活の質の向上を重視する、平和で自由な社会（三省堂 大辞林）を意味し、強制と支配ではなく自由と責任と連帯、個人の価値観の多様性を尊重する寛容さ、社会の複雑化や変化の速さなどが特徴とされています。

私の乏しい経験からではございますが、医学生や若い医師の価値観の多様性も急速に進んでいる印象があり、認識を新たにすべきではないかと考えます。一方では、海外留学を目指し、英語教科書や最新論文やガイドラインを読み真剣に臨床実習に臨み、医師としても十分通用する優れた知識、診断技能および謙虚な態度を示す成熟した志の高い学生。他方では、部活動やアルバイトを優先し国家試験合格のみが目標、予備校の出版物やビデオ講座に依存し医学教科書類は読まず、実臨床に必要な知識や技能に欠け臨床実習をサボタージュする未熟で利己的な学生。後者は将来、教科書や論文を読めるようになり臨床研修を終え専門医を取得できるか心

配です。さらに心配なことは、後者に流され安易な選択をする学生が増えることへの懸念や、本来尊敬され高く評価されるべき前者が「意識高い系」と後者から揶揄され学習を阻害される文化への懸念なのかも知れません。もちろん個々の価値観の多様性は尊重されるべきと考えますが、医師として地域社会より信頼を得るためには「知識」「技能」「態度」を兼ね備えるべきで、度を越えた利己主義や未熟な態度は「プロフェッショナル」として許容されるべきではないのかも知れません。

平成30年3月国立社会保障・人口問題研究所により公表された将来推計では、沖縄県の人口はわずかに増加を続け12年後（2030年）に1,469,847人でピークとなり以降減少する一方、65歳以上人口は増加を続け高齢化が急速に進みます。いつ頃どの分野がどの程度、増加あるいは減少するかを正確に指摘することは容易ではないものの、そう遠くない将来医療需要は総量としては減少傾向に転じ、内容は現状から大きく変化することは予想に難くありません。

医師臨床研修マッチング協議会の資料では、平成27年度沖縄県のマッチ者数は155名でした。また日本専門医機構の資料では、平成30年3月15日現在沖縄県の専攻医採用・登録者数は107名でした。国家試験不合格者や専門研修を受けない少数の医師を考慮しなければ、県内臨床研修医の1/3弱は県外に流れると考えることができます。

私の理解では、自分の理想とする医療を学ぶあるいは実践するために、よりよいシステム、環境、さらには文化を求めて、志の高い学生や医師が県外に流れていくのではないかと考えます。具体的な要素としては、①豊富な症例数、②優れた指導医、③優れた研修環境（文献検索や研究指導などを含む）、④高い診療水準（治療成績）、⑤情報の公開と共有、⑥お互いを尊重しあい自由な話し合いができるオープンな文化、などが重要ではないかと考えます。可能であれば県外を選択した理由をくわしく調査する

とともに、志の高い医師が県内に多く留まるよう、専門研修プログラムおよび研修環境の改善を進めて行くべきではないかと思えます。

現在の沖縄県がおかれている厳しい経済事情、近い将来減少が予想される医療需要、学生や若い医師の価値観の多様性を考慮すると、高価値医療 (High Value Care) すなわち、利益 (Benefit)、害 (Harm)、費用 (Cost)、目標 (Goal) の4つのバランスが取れた医療を、若い医師と上級医が、ともに学び成長し、実践することこそ優先順位が高いのではないかと考えます。

特に目標 (Goal) について、様々な立場の先生方が個々の立場を超え、将来沖縄の地域医療を支える若い医師を育成する方策について、対話する場を持ち、ある一定のビジョンを共有し、方向性やコンセンサスを形成する時期に差し掛かっているのではないのでしょうか。人材不足が顕著な外科系診療科を中心に、沖縄の英知を結集し、症例数確保、診療成績向上、過重な労働研修環境改善などを両立し、若い医師を育成する取り組みが期待されます。

## お知らせ

### 文書映像データ管理システムについて (ご案内)

さて、沖縄県医師会では、会員へ各種通知、事業案内、講演会映像等の配信を行う「文書映像データ管理システム」事業を平成 23 年 4 月から開始しております。

また、各種通知等につきましては、希望する会員へ郵送等に併せてメール配信を行っております。

なお、「文書映像データ管理システム」(下記 URL 参照) をご利用いただくにはアカウントとパスワードが必要となっており、また、メール配信を希望する場合は、当システムからお申し込みいただくことにしております。

アカウント・パスワードのご照会並びにご不明な点につきましては、沖縄県医師会事務局 (TEL098-888-0087 担当: 徳村・国吉) までお電話いただくか、氏名、医療機関名を明記の上 omajimusyo@okinawa.med.or.jp までお問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。

○ 「文書映像データ管理システム」

URL : <http://www.documents.okinawa.med.or.jp/>

※ 当システムは、沖縄県医師会ホームページからもアクセスいただけます。

# 感 染 症 情 報

## 沖縄県感染症発生動向調査報告状況

(定点把握対象疾患)

疾 病	定点区分	18週	19週	20週	21週	
		5/6	5/13	5/20	5/27 (定点あたり)	
		報告数	報告数	報告数	報告数	
インフルエンザ	インフルエンザ	126	97	97	100	(1.75)
RSウイルス感染症	小児科	78	81	63	116	(3.41)
咽頭結膜熱	小児科	8	26	23	38	(1.12)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	小児科	59	63	58	55	(1.62)
感染性胃腸炎	小児科	109	144	164	151	(4.44)
水痘	小児科	22	24	5	11	(0.32)
手足口病	小児科	24	26	36	38	(1.12)
伝染性紅斑	小児科	0	1	3	4	(0.12)
突発性発疹	小児科	20	30	22	27	(0.74)
ヘルパンギーナ	小児科	0	0	0	2	(0.06)
流行性耳下腺炎	小児科	1	4	3	3	(0.09)
急性出血性結膜炎	眼科	1	0	0	0	(0.00)
流行性角結膜炎	眼科	5	23	21	18	(1.80)
細菌性髄膜炎	基幹	0	0	0	1	(0.14)
無菌性髄膜炎	基幹	2	1	2	0	(0.00)
マイコプラズマ肺炎	基幹	1	2	0	1	(0.14)
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	基幹	0	1	0	0	(0.00)
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	基幹	0	1	2	1	(0.14)

※1. 定点あたり・・・対象となる五類感染症(インフルエンザなど18の感染症)について、沖縄県で定点として選定された医療機関からの報告数を定点数で割った値のことで、言いかえると定点1医療機関当たりの平均報告数のことです。(インフルエンザ定点58、小児科定点34、眼科定点10、基幹定点7点)

※2. 最新の情報は直接沖縄県感染症情報センターホームページへアクセスしてください。  
麻疹の情報も随時更新しております。  
<http://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/home.html>

# お 知 ら せ

## 日医白クマ通信への申し込みについて

さて、日本医師会では会員及び、マスコミへ「ニュースやお知らせ」等の各種情報をEメールにて配信するサービス(白クマ通信)をおこなっております。

当該配信サービスをご希望の日医会員の先生方は日本医師会ホームページのメンバーズルーム(<http://www.med.or.jp/japanese/members/>)からお申し込みください。

※メンバーズルームに入るには、ユーザーIDとパスワードが必要です。(下記参照)

不明の場合は氏名、電話番号、所属医師会を明記の上、[bear@po.med.or.jp](mailto:bear@po.med.or.jp)までお願いいたします。

### ユーザーID

※会員ID(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角で入力)。

日医ニュース、日医雑誌などの宛名シール下部に印刷されているID番号です。

[0]も含め、すべて入力して下さい。

### パスワード

※生年月日6桁の数字(半角で入力)。

生年月日の西暦の下2桁、月2桁、日2桁を並べた6桁の数字です。

例) 1948年1月9日生の場合、「480109」となります。

# 「命ぐすい耳ぐすい」/沖縄タイムス 「ドクターのゆんたくひんたく」/琉球新報 原稿募集のご案内

## 広報委員会

広報委員会では、県民の健康増進に資するため、沖縄タイムス及び琉球新報の紙面を借りて医療に関する情報を提供しております。

つきましては、会員の皆さまからの原稿を下記のとおり募集いたします。

なお、執筆内容が専門的な傾向にならないよう、文章全体のトーンとしては、一般の読者が親しみやすいように専門用語は出来るだけ控えた平易な表現でお願いします。

### 記

#### ○掲載日

沖縄タイムス「命ぐすい耳ぐすい」

：毎週金曜日

琉球新報

「ドクターのゆんたくひんたく」

：毎週水曜日

#### ○掲載要領：

##### ①字数

沖縄タイムス「命ぐすい耳ぐすい」

：800字程度（本文のみ）

琉球新報「ドクターのゆんたくひんたく」

：800字程度（本文のみ）

※各20字程度の字数増減可

・注釈をつける場合は、その字数も含める。

②原稿のタイトル並びにサブタイトルを10文字程度でお付け下さい。

③図やイラスト、グラフの添付は可能。

・図やイラスト、グラフは簡単な原稿をいただければ、新聞社のデザイン係の方で紙面用に仕上げます。

④本企画は、県民の健康増進に資するため、医療知識の適切な提供とその啓発普及を主旨としております。企画主旨にそぐわない内容・表現について、または修飾語、助詞、見出しについては、新聞社・編集側にて若干の手直しを行う場合がありますので、ご了承下さい。

⑤自院の紹介等、特定の医療機関に偏る表現・内容、イベントの告知等はお控え下さい。

⑥新聞掲載に際して著作権は本会に帰属されます。ご投稿は同意されたこととみなしますのでご了承下さい。

⑦新聞掲載の採否については広報委員会にご一任下さい。

⑧文中に固有名詞の使用はお控え下さい。

⑨他誌に掲載済みの原稿は掲載いたしかねますので、ご了承下さい。

#### ○原稿の送付先

〒901-1105

南風原町字新川218-9

沖縄県医師会広報委員会宛



講演会・例会のご案内

(7月10日～9月9日)

カリキュラムコード(略称: CC)

医師のプロフェッショナルリズム	1	全身倦怠感	18	けいれん発作	35	胸やけ	52	不安	69
医療倫理: 臨床倫理	2	身体機能の低下	19	視力障害、視野狭窄	36	腹痛	53	気分の障害(うつ)	70
医療倫理: 研究倫理と生命倫理	3	不眠	20	目の充血	37	便通異常(下痢、便秘)	54	流・早産および満期産	71
医師-患者関係とコミュニケーション	4	食欲不振	21	聴覚障害	38	肛門・会陰部痛	55	成長・発達の障害	72
心理社会的アプローチ	5	体重減少・るい瘦	22	鼻漏・鼻閉	39	熱傷	56	慢性疾患・複合疾患の管理	73
医療制度と法律	6	体重増加・肥満	23	鼻出血	40	外傷	57	高血圧症	74
医療の質と安全	7	浮腫	24	嗝声	41	褥瘡	58	脂質異常症	75
感染対策	8	リンパ節腫脹	25	胸痛	42	背部痛	59	糖尿病	76
医療情報	9	発疹	26	動悸	43	腰痛	60	骨粗鬆症	77
チーム医療	10	黄疸	27	心肺停止	44	関節痛	61	脳血管障害後遺症	78
予防と保健	11	発熱	28	呼吸困難	45	歩行障害	62	気管支喘息	79
地域医療	12	認知能の障害	29	咳・痰	46	四肢のしびれ	63	在宅医療	80
医療と介護および福祉の連携	13	頭痛	30	誤嚥	47	肉眼的血尿	64	終末期のケア	81
災害医療	14	めまい	31	誤飲	48	排尿障害(尿失禁・排尿困難)	65	生活習慣	82
臨床問題解決のプロセス	15	意識障害	32	嚥化困難	49	乏尿・尿閉	66	相補・代替医療(漢方医療を含む)	83
ショック	16	失神	33	吐血・下血	50	多尿	67	その他	0
急性中毒	17	言語障害	34	嘔気・嘔吐	51	精神科領域の救急	68		

開催日	場所	名称	講師	単位・CC	問合せ先 参加費
07/10 (火) 19:00	沖縄県医師会館	沖縄腎フォーラム定例会 (日医生涯教育講座) ①文献紹介・抄読会 ②定例検討会	①②未定	①1.0単位・15)9) ②1.0単位・15)73)	沖縄腎フォーラム 松原 隆 098-888-5552 参加費 なし
07/18 (水) 19:00	琉球大学医学部 クリニカルシミュ レーションセン ター	琉球大学漢方医学研究会平 成30年度第1回 (日医生涯教育講座) EBMと漢方	友利 寛文(那覇市立病院外科部 長)	1.5単位・60)61) 83)	榊ツムラ 峠 大輔 098-862-0079 参加費 医師・薬剤師 100円
07/20 (金) 19:00	沖縄県医師会館	第5回沖縄県身体・精神疾患 研究会 (日医生涯教育講座) ①専門病棟における身体合 併症医療の取り組み ②うつ病・抑うつ状態におけ る不眠の対応	①井上 幸代(沖縄県南部医療セ ンターこども医療センター精 神科部長) ②平安 良雄(平安病院法人統括 院長臨床研修センター長/横 浜市立大学名誉教授)	①0.5単位・70) ②1.0単位・20)	MSD(株) 小川 和也 098-866-6053 参加費 なし
07/21 (土) 14:00	沖縄産業支援セ ンター	第7回沖縄リハビリテーション 栄養研究会 (日医生涯教育講座) ①回復期リハ病棟における栄 養ケアの意義とその実践 ②リハビリテーション栄養2 .0リハ栄養の新たな定 義とリハ栄養ケアプロセス ③一般演題	①西岡 心大(長崎リハビリテ ーション病院栄養管理室長) ②若林 秀隆(横浜市立大学市民 総合医療センターリハビリテ ーション科) ③2~3人を予定(2~3題を予定)	①1.0単位・22)78) ②1.5単位・15)19) 47) ③0.5単位・10)	ちゅうざん病院 吉田 貞夫 098-982-1346 参加費 医師、看護師、 栄養士、セラピスト等 1,000円

//////////////////// 講演会・例会のご案内 //////////////////////

開催日	場所	名称	講師	単位・CC	問合せ先 参加費
07/21 (土) 16:00	浦添市てだこホール	沖縄県認知症疾患医療センター講演会 <b>(日医生涯教育講座)</b> 認知症の理解とケア～症状の客観的評価と主観的体験～	斎藤 正彦(東京都立松沢病院)	2.0単位・13)	琉球大学医学部附属病院 真栄田、城間 098-895-1765 参加費 なし
07/21 (土) 19:00	ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城	第15回沖縄小児内分泌研究会 <b>(日医生涯教育講座)</b> ①一般演題未定(成長に関するもの) ②小児内分泌疾患の早期診断と遺伝カウンセリング	①未定 ②中村 公俊(熊本大学大学院生命科学研究部小児科学分野教授)	①0.5単位・72) ②1.0単位・73)	JCRファーマ(株) 阿部 真也 090-5642-8734 参加費 なし
07/22 (日) 13:00	P's SQUARE	第12回沖縄呼吸器セミナー <b>(日医生涯教育講座)</b> ①なるほど納得！喘息はこう診る！ ②なるほど納得！これだけやろう！救急での治療・外来での治療 ③症例検討	①原永 修作(琉球大学医学部附属病院総合臨床研修・教育センター特命准教授) ②知花 なおみ(那覇市立病院内科部長) ③玉城 仁 他(仲本病院 他)	①0.5単位・45) ②0.5単位・79) ③1.5単位・79)	杏林製薬(株) 吉井 智也 098-864-0440 参加費 医師500円
07/26 (木) 19:00	沖縄県医師会館	日医生涯教育協力講座セミナー「これからの高尿酸血症・痛風の治療戦略」 <b>(日医生涯教育講座)</b> ①慢性腎臓病に合併した高尿酸血症に対するプラクティカルアプローチ ②高尿酸血症・痛風の病態と治療 ③パネルディスカッション日常診療における高尿酸血症対策	①古波蔵 健太郎(琉球大学医学部附属病院血液浄化療法部部長准教授) ②山中 寿(東京女子医科大学医学部膠原病リウマチ内科学講座教授・講座主任) ③山中 寿 他(東京女子医科大学医学部膠原病リウマチ内科学講座教授・講座主任他)	①1.0単位・73) ②1.0単位・61) ③1.0単位・82)	沖縄県医師会事務局業務1課 098-888-0087 参加費 なし
07/30 (月) 19:00	沖縄県医師会館	心血管病セミナー～これからの脂質異常症治療～ <b>(日医生涯教育講座)</b> ①南部医療圏における地域医療構想とは ②動脈硬化に対する新たな治療戦略を考える	①比嘉 盛丈(豊見城中央病院特命副院長兼糖尿病・生活習慣病センター長) ②挽地 裕(佐賀大学医学部附属病院循環器内科診療教授)	①0.5単位・12) ②1.0単位・75)82)	MSD(株) 横川 平一 098-866-6053 参加費 なし
08/06 (月) 19:15	ザ・ナハテラス	第22回沖縄リウマチ医療の会 <b>(日医生涯教育講座)</b> ①関節リウマチにおける疾患関連遺伝子解析 ②診療ガイドラインからみた関節リウマチの薬物療法	①猪狩 勝則(東京女子医科大学膠原病リウマチ痛風センター) ②川人 豊(京都府立医科大学大学院医学研究科免疫内科学講座)	①1.0単位・9) ②1.0単位・61)75)	あゆみ製薬(株) 秦 保雄 0120-061-374 参加費1,000円
08/09 (木) 19:10	沖縄県医師会館	沖縄肺高血圧症研究会 <b>(日医生涯教育講座)</b> ①強皮症における血管異常と免疫異常 ②進歩する肺高血圧症診療～本邦における生命予後と早期治療の重要性	①久保 智史(産業医科大学医学部第一内科学講座助教) ②田原 宣広(久留米大学病院循環器病センター准教授)	①0.5単位・42) ②0.5単位・45)	アクテリオンファーマシューティカルズジャパン(株) 新垣 俊樹 092-481-2860 参加費 なし
09/02 (日) 10:00	琉球大学医学部臨床講義棟2階大講義室	沖縄県1型糖尿病患者会 ①1型糖尿病の治療と未来 ②生体腎移植および脳下垂体移植患者体験談 ③グループディスカッション	①竹本 のぞみ ②患者体験談		琉球大学(第二内科) 竹本 のぞみ 098-895-1145

※最新の情報はホームページで逐次更新していますので、ご確認ください。  
※お願い：9月10日～11月9日迄の講演会例会等が決まれば、7月25日迄に業務1課(098-888-0087)へご一報下さい。

平成 30 年度 産業医研修会案内

平成 30 年度みだし研修会を別紙要領により開催することに致しましたので、ご案内申し上げます。

つきましては、研修会への受講を希望する場合には、別紙開催日程をご確認の上、下記により FAX(098-888-0089)でお申し込み下さい。

研修会参加申込票

参加希望の研修番号に○印を付けてください。

申込み研修番号	A・ B・ C・ D・ E・ F・ G・ H
参加申込者	氏名：
	氏名：
	氏名：
	氏名：
施設名	
TEL	
認定区分	認定医 ・ 未認定医

※申込後にキャンセルする場合は、お早めにご連絡くださいますようお願い申し上げます。特に  
 実地研修については、定員に達した場合、キャンセル待ちが発生することもございますのでご協  
 力のほどお願い致します。

沖縄県医師会事務局 業務 1 課  
 (TEL.098-888-0087 FAX.098-888-0089)

平成30年度沖縄県医師会産業医研修会実施計画

※単位制の研修につき、**時間厳守**をお願いします。遅刻や途中退室は単位認定ができませんのでご注意ください。

申込み 研修番号	研修会名	日時	場所	カリキュラム (付与単位数)	講師名
終了	基礎研修 (前期のみ) (未認定医対象)	4月26日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (2階会議室2)	(1) 総論(2単位) 「やりがいのある産業医活動」 (2) 健康管理(2単位) 「職場の受動喫煙対策(新型 タバコ対策も含めて)」	(1) 伊志嶺 隆 先生 (2) 清水 隆裕 先生
終了	基礎研修 (前期のみ) (未認定医対象)	5月31日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (2階会議室2)	(1) 作業環境管理(2単位) 「産業医活動における作業環 境管理の活用法～作業環境測 定をどのように作業環境管理 に用いるか～」 (2) メンタルヘルス対策(2単位) 「ストレスチェック時代の産 業医が取り組む職場のメン タルヘルス対策」	(1) 青木 一雄 先生 (2) 山本 和儀 先生
終了	基礎(後期) 生涯 (専門・更新)	6月14日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 総論(2単位) 「産業保健における産業医の 役割～産業医活動を実施す る際の留意点を中心に～」 (2) 労働衛生関係法規と関係通達 の改正(2単位)	(1) 青木 一雄 先生 (2) 加藤 浩司 先生
D	基礎(実地) 生涯(実地) 【定員60名】	7月12日(木) 開始18:30 終了21:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) メンタルヘルス対策(3単位) 「職場環境改善による医療従 事者のメンタルヘルス不調 の予防策」	(1) 山本 和儀 先生
E	基礎(後期) 生涯(専門)	8月16日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 作業環境管理(2単位) 「作業環境管理の把握と活用 ～作業環境をハードおよび ソフト両面から捉えよう～」 (2) 健康保持増進(2単位) 「健康な職員は会社の財産」	(1) 青木 一雄 先生 (2) 伊志嶺 隆 先生
F	基礎(後期) 生涯(専門)	10月18日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 作業管理(2単位) 「作業管理の実際～過重労働 対策(過労死等予防対策)を中 心に～」 (2) メンタルヘルス対策(2単位) 「医療従事者のメンタルヘル ス対策」	(1) 青木 一雄 先生 (2) 山本 和儀 先生
G	基礎(後期) 生涯 (専門・更新)	10月27日(土) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 健康管理(2単位) 「職場における産業医の健康管 理の係わり方～健康管理にも PDCA サイクルを回そう～」 (2) 労働衛生関係法規と関係通達 の改正(2単位)	(1) 青木 一雄 先生 (2) 加藤 浩司 先生
H	基礎(実地) 生涯(実地)	12月15日(土) 開始18:30 終了21:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 健康管理(3単位) 「職場における健康情報提供の 具体策 健康診断事後指導・ 啓発の実際」 ※パソコンをお持ちの方で、当日持ち込みが 可能な方はご持参ください。その場合、モ バイルルーター等 Wi-Fi の接続機器もお 持ちでしたら、あわせてご持参ください。	(1) 清水 隆裕 先生

※申込後にキャンセルする場合は、お早めにご連絡くださいますようお願い申し上げます。特に実地研修については、定員に達した  
場合、キャンセル待ちが発生することもございますのでご協力のほどお願いいたします。



参考 沖縄県医師会 産業医研修会年度別開催スケジュール（平成26年～平成30年度）

研修名称		研修内容	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
I 基礎 研修	前期研修 (未認定医14単位以上)	(1) 総論(2単位)	4/17		4/28		4/26
		(2) 健康管理(2単位)	4/17		4/28		4/26
		(3) メンタルヘルス対策(1単位)	6/19		6/16		5/31
		(4) 健康保持増進(1単位)		4/16		5/25	
		(5) 作業環境管理(2単位)	6/19		6/16		5/31
		(6) 作業管理(2単位)		4/16		4/20	
		(7) 有害業務管理(2単位)		6/18		5/25	
		(8) 産業医活動の実際(2単位)		6/18		4/20	
		(9) その他					
I II 基 生 礎 涯 研 研 修 修	後期研修 (未認定医26単位以上)  更新研修 (認定医1単位以上)	(1) 労働衛生関係法規と関係通達の改正	10/30	5/21	5/19、10/15	7/8、10/19	6/14、10/27
		(2) その他	5/15	7/16			
I II 基 生 礎 涯 研 研 修 修	実地研修 (未認定医10単位以上) (認定医1単位以上)	(1) 健康管理		6/20			12/15
		(2) じん肺の胸部エックス線検査					
		(3) メンタルヘルス対策	11/13	11/12	6/4	7/27	7/12
		(4) 健康保持増進				11/18	
		(5) 救急処置			11/17		
		(6) 作業環境管理・作業管理	8/23				
		(7) 職場巡視と討論					
		(8) その他		7/12			
I II 基 生 礎 涯 研 研 修 修	後期研修 (未認定医26単位以上)  専門研修 (認定医1単位以上)	(1) 総論	5/15		5/19		6/14
		(2) 労働衛生管理体制(総括管理)		5/21、7/12		7/8	
		(3) 健康管理	7/17	8/20	7/14	8/10	10/27
		(4) メンタルヘルス対策	9/13	10/8	8/25	6/15	10/18
		(5) 健康保持増進	7/17		7/14		8/16
		(6) 作業環境管理	10/30		10/15		8/16
		(7) 作業管理		7/16		6/15	10/18
		(8) 有害業務管理		11/26		10/19	
		(9) 労働衛生教育		8/20		8/10	
		(10) その他	9/13		8/25		
		研修会開催回数	8回	10回	8回	8回	8回

【未認定医】

- ・ 新規認定の為には基礎研修（前期研修14単位以上・実地研修10単位以上・後期研修26単位以上）合計で50単位以上の修得が必要です。
- ・ 未認定医は「2年程度」で産業医の認定資格が得られます。

【認定医】

- ・ 認定産業医の更新には、認定証取得後（有効期限内5年間）に生涯研修（更新研修1単位以上、実地研修1単位以上、専門研修1単位以上）20単位以上の修得が必要です。
- ・ 認定医は1年間では単位取得が可能です。

# 平成30年度 産業保健研修会予定表 ～産業保健かわら版(前期)～

沖縄産業保健総合支援センターでは、事業場の産業保健担当者等に対して産業保健に関する基礎的又は専門的・実践的な研修会を開催しています。  
参加ご希望の方は「申込書」に記載の上、このままFAX(098-859-6176)にてお申し込み下さい。  
ホームページにも研修会の案内を掲載しておりますので、ご参照下さい。(http://www.okinawas.johas.go.jp)  
**※なお、「定員」に達した場合は受付を終了させていただくことがあります。ご了承ください。**

**本研修会は無料です。**

※キャンセルの場合は御連絡下さい。

〒901-0152 沖縄県那覇市字小祿1831-1  
沖縄産業支援センター 2階  
独立行政法人 労働者健康安全機構  
沖縄産業保健総合支援センター  
TEL098-859-6175 FAX098-859-6176

● **産業医研修 (生涯研修2単位:「産業医研修手帳」をご持参ください。)**

【研修場所 沖縄産業支援センター3階会議室】

研修会 番号	日 時	研 修 テ ー マ	内 容	講 師	研修会場
3	7月4日(水) 18:30～20:30	職場の健康管理:高血圧対策(生涯専門)	職業性ストレスで身体におこってくる血圧上昇は要注意・危険サインの始まりです。本講習では産業保健で知っておくべき高血圧対策についてまとめます。	崎間 敦 (産業医学)	308室
4	7月5日(木) 18:30～20:30	脳・心臓疾患の労災認定(生涯専門)	いわゆる「過労死」と労災保険の認定基準などについて学び、「過労死」を起こさせない為に産業医として何が出来るかを考えてみましょう。	伊志嶺 隆 (産業医学)	303室
5	7月25日(水) 18:30～20:30	産業医のための労働衛生法令① (生涯更新) ※定員に達しました。	職場の「健康診断」とその事後措置について、関係する労働衛生法令を詳しく説明します。	前里 久誌 (社労士)	303室
6	8月2日(木) 18:30～20:30	動機づけ面接(生涯実地)	動機づけ面接は、アルコール依存症に対する治療成績が良かった治療者の応答手法を解析することにより、体系・確立化された面接スタイルです。本研修では、その動機づけ面接の基本的なスキルの体験をいたします。	清水 隆裕 (産業医学)	303室
7	8月3日(金) 18:30～20:30	うつ病の最近の話題と認知行動療法による予防(生涯専門)	うつ病の最近の話題、認知行動療法によるうつ病の回復と予防、その他	仲本 晴男 (メンタルヘルス)	303室
8	8月10日(金) 18:30～20:30	職場メンタルヘルスの理解と対応(生涯専門)	事業者の法的責任、心の健康保持・指針、過重労働、労災、復職、自殺予防、その他	仲本 晴男 (メンタルヘルス)	303室
9	8月29日(水) 18:30～20:30	産業医が取り組む、病態を考慮した職場のハラスメント対策(生涯専門)	上司や同僚・部下等との人間関係の悪化が職場の生産性を下げ、メンタル不調や休職・退職、労災請求・裁判での紛争に至ることもある。ハラスメントを行なう側、受ける側の病態に即した産業医の立場で取り組むハラスメント対策の方法について学んでいただく。	山本 和儀 (メンタルヘルス)	303室
10	9月26日(水) 18:30～20:30	産業医のための労働衛生法令② (生涯更新)	産業医を中心とした産業保健スタッフによる「職場巡視」、「安全衛生委員会の活動」等について詳しく説明します。	前里 久誌 (社労士)	303室
11	9月27日(木) 18:30～20:30	カウンセリング技法を学ぶ(認知行動療法)(生涯専門)	近年、注目されている「認知行動療法」により、いわゆるマイナス思考をプラス思考にギアチェンジするための技法を学びます。	福地 孝 (カウンセリング)	304室

## 申 込 書

※キャンセルの場合は必ず御連絡下さい。

FAX 098-859-6176

開催場所	沖縄産業支援センター 3階会議室	研修会 番 号	3 , 4 , 5 ,
フリガナ(必須) 氏 名			6 , 7 , 8 ,
所属機関 (事業場名)		所属部署	9 , 10 , 11
職 種	1. 産業医 2. 産業看護職(保健師・看護師) 3. 衛生管理者 4. 人事・労務・安全衛生担当者 5. 事業主 6. 労働者 7. その他( )		
電話番号		F A X	

※申込みの際にご記入いただいた個人情報は、本研修会における参加名簿作成のために使用するほか、当センターが行う研修・セミナー等の御案内に使用させていただくことがあります。また、「かわら版」の研修予定以外に研修会を開催することがございますのでホームページをご覧ください。

**嘱託産業医活動情報書**

沖縄県医師会では、事業場からの産業医紹介依頼に対応するため、産業医としての契約を希望されている先生方の情報を取りまとめたいと考えております。ご協力いただける方は下記事項に記入いただき提出をお願い致します。  
 ※事業場との契約内容(報酬等)については、事業主と産業医の相談により決定となります。

申込み日 平成 年 月 日 ( )

産業医氏名		診療科目	
医療機関名			
住 所			
電話番号		FAX	
メールアドレス			

嘱託産業医を受託する際のご希望をお聞かせ下さい。

項 目	ご 希 望 条 件
実施可能件数	1件 ・ 2件 ・ 3件 ・ 4件 ・ 5件以上
事業所規模	従業員数 ①50人～99人 ②100人～149人 ③150人以上
業種について	①建設業 ②製造業 ③運送業 ④サービス業 ⑤IT業 ⑥その他 ( )
病院から事業所までの所要時間 (片道)	①30分程度 ②45分程度 ③1時間程度 ④時間は気にしない
事業所への訪問、実施曜日 (事業所訪問は基本月1回)	①企業の都合に合わせる ②双方相談のうえ調整
( )に第何週か記入下さい	①第 ( ) 水曜日 ②第 ( ) 木曜日 ③第 ( ) 土曜日
ストレスチェックの <b>実施者</b> になることについて	① 承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェックの <b>共同実施者</b> になることについて	① 承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェック後の高ストレス者に対する面接指導について	① 実施可能 ②実施不可 ③要相談
地区医師会との情報共有	① 許可する ②許可しない

メモ欄
-----

連絡先  
 沖縄県医師会業務1課(久場)  
 TEL:098-888-0087  
 FAX:098-888-0089

## 平成 30 年度災害医療研修プログラム開催のお知らせ

沖縄県医師会では、東日本大震災や熊本地震の教訓を活かし、次の大規模災害に備えた態勢の整備として、平成 26 年度より独自に災害医療研修プログラムを実施しております。

今年度の開催プログラムが決定いたしましたのでお知らせします。

各コースへの受講申込は、下記により FAX (098-888-0089) にてお申し込み下さい。

	日時	プログラム	研修形態
1	6月28日(木) 19:30~21:00	災害総論	終了
2	7月21日(土) 15:00~17:00	熊本市南区における災害活動支援の実態(仮称) 招聘講師:熊本市南区自治体職員	講義
3	9月27日(木) 19:30~21:00	災害現場医療対応の原則(急性期)	講義、図上
4	10月11日(木) 19:00~20:30	大規模災害発生時における多数死体検視(仮称)	講義
5	12月13日(木) 19:30~21:00	CBRNE(テロ災害) ~TOKYO2020 東京オリンピック・パラリンピック に向けて~	講義

※ 研修コースは全て沖縄県医師会館(3Fホール)で開催予定です。

----- 参加申込票 -----

■FAX.098-888-0089 参加希望の研修番号に○印を付け、お申込みください。

申込番号	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5
施設名	
氏名	医師・看護師・業務調整員・その他

沖縄県医師会事務局 業務1課 山川、崎原  
TEL: 098-888-0087 FAX: 098-888-0089



## ～ICLS コース開催のお知らせ～

ICLS(Immediate Cardiac Life Support)コースとは、最新の心肺蘇生ガイドラインに基づいた二次救命処置について学ぶ日本救急医学会認定のトレーニングコースです。成人の心肺停止に的をしぼり、最初の10分間に行うチーム医療を、シミュレーション実習を通して学びます。今年度、開催期日が決定しましたのでお知らせします。

名称	時間	実施場所
第60回 新おきなわICLSコース (終了)	5月27日(日) 9:00～18:00	おきなわクリニカル シミュレーションセンター
第61回 新おきなわICLSコース (受付終了)	7月22日(日) 9:00～18:00	おきなわクリニカル シミュレーションセンター
第62回 新おきなわICLSコース	10月7日(日) 9:00～18:00	おきなわクリニカル シミュレーションセンター
第63回 新おきなわICLSコース	11月25日(日) 9:00～18:00	名桜大学
第64回 新おきなわICLSコース	1月20日(日) 9:00～18:00	おきなわクリニカル シミュレーションセンター
<p>✚ 各コースとも受講料(昼食代込、テキスト代別)は、医師・歯科医師8,000円、コメディカル6,000円を予定しています。</p>		
<p>✚ 各コースとも募集は2ヶ月前に以下リンク先に掲載されますので、お申込み下さい。</p> <p>✚ 沖縄県医師会 <a href="http://www.okinawa.med.or.jp/html/kyukyu/kyukyu/kyukyu.html">http://www.okinawa.med.or.jp/html/kyukyu/kyukyu/kyukyu.html</a></p> <p>✚ おきなわクリニカルシミュレーションセンター <a href="http://okinawa-clinical-sim.org/course.html">http://okinawa-clinical-sim.org/course.html</a></p>		
<p>✚ 受講選考については、これまで通り申し込み順ではなく、施設間のバランスやインストラクターの参加状況を踏まえ、決定することになりますので、ご了承ください。</p>		
<p>・問い合わせ先: <a href="mailto:trees@me.au-hikari.ne.jp">trees@me.au-hikari.ne.jp</a> (沖縄ERサポート 林 峰栄)</p> <p>・問い合わせ先: 沖縄県医師会事務局 業務1課(崎原)</p> <p>TEL. 098-888-0087 FAX. 098-888-0089</p>		

## 労務管理者向け勤務環境改善セミナー開催のお知らせ

ご承知のとおり、改正医療法において、医療機関の勤務環境改善が各医療機関の努力義務として位置づけられたことに伴い、沖縄県医師会（沖縄県医療勤務環境改善支援センター）では、平成 27 年度よりみだしセミナーを開催しておりますが、今年度も引き続き、職場環境改善に必要な知識の習得・啓発に向けたセミナーを下記のとおり開催いたします。

本セミナーでは、快適に働ける職場環境づくりを行なうためのポイントや具体的な進め方等をご説明するほか、終了後、医療機関からの無料相談会も実施しております。

参加ご希望の方は、各セミナー番号に○印を付け、必要事項を記載の上、FAX（098-888-0089）にて各日程の 2 週間前までにお申し込み下さい。

	日時	時間	プログラム
<b>終了</b>	6 月 11 日(月)	13:30 ～ 15:30	「平成 30 年度 労働行政動向の一大ポイント！をここで学びます (労務管理の重点事項研修 1 回目)」 内容：36 協定の締結実務及び長時間労働抑制について
<b>2</b>	7 月 23 日(月)	13:30 ～ 15:30	「社労士が教える 社会保険と労働保険の実務セミナー」 「1 回目 社会保険の基礎実務 (仮)」
<b>3</b>	8 月 13 日(月)	13:30 ～ 15:30	「社労士が教える 社会保険と労働保険の実務セミナー」 「2 回目 労働保険の基礎実務 (仮)」
<b>4</b>	9 月 10 日(月)	13:30 ～ 15:30	「ここがポイント、平成 30 年度の助成金をまるっと紹介」
<b>5</b>	10 月 15 日 (月)	13:30 ～ 15:30	「医療従事者が職場で行う PDCA の実践 (仮)」 内容：ワーク・ライフ・バランス推進リーダーに役立つ事例と ワークショップ
<b>6</b>	11 月 12 日 (月)	13:30 ～ 15:30	「平成 30 年度 労働行政動向の一大ポイント！をここで学びます(仮) (労務管理の重点事項研修 2 回目)」 内容：労働時間把握、長時間労働抑制を念頭に契約書締結実務

✚ セミナー対象者は、労務管理者、または今後そうした立場になる可能性のある方、職場環境改善に関わる方などを含みます。申込が複数いる場合はコピーをご利用下さい。

✚ セミナー開催場所は、沖縄県医師会館（南風原町字新川 218-9）で開催いたします。

----- 参加申込票 -----

参加希望の研修番号に○印を付けてください。

申込番号	1	2	3	4	5	6
施設名						
職氏名						

沖縄県医師会事務局  
 沖縄県医療勤務環境改善支援センター 崎原  
 TEL: 098-888-0087 FAX: 098-888-0089

# 沖縄県医療勤務環境改善支援センター ニュースレター

平成 30 年 5 月 7 日発行 第 69 号

沖縄県医師会(沖縄県医療勤務環境改善支援センター)  
〒901-1105 南風原町字新川 218-9  
TEL.098-888-0087 / FAX.098-888-0089  
mailto:g1@ml.okinawa.med.or.jp

## ★労働管理トピック

### ～平成 29 年度「過重労働解消キャンペーン」の重点監督実施結果を公表～

医療労務管理アドバイザー(特定社会保険労務士) 金城 由紀子

厚生労働省は、平成 29 年 11 月に実施した「過重労働解消キャンペーン」における重点監督の実施結果の取りまとめを公表しました。重点監督結果のポイントは、以下の通りです。

- (1) 監督指導の実施事業場：7,635 事業場  
このうち、5,029 事業場 (全体の 65.9%) で労働基準関係法令違反あり。
- (2) 主な違反内容[(1)のうち、**法令違反があり、是正勧告書を交付**した事業場]
  - ① **違法な時間外労働があったもの**：2,848 事業場 (37.3%)
  - ② 賃金不払い残業があったもの：536 事業場 (7.0%)
  - ③ 過重労働による健康障害防止措置が未実施のもの：778 事業所 (10.2%)
- (3) 主な健康障害防止に係る指導の状況[(1)のうち、**健康障害防止のため指導票を交付**した事業場]
  - ① 過重労働による健康障害防止措置が不十分なため改善を指導したもの：5,504 事業場 (72.1%)
  - ② 労働時間の把握が不適正なため指導したもの：1,232 事業場 (16.1%)

また、「(2) ①違法な時間外労働があった」2,848 事業場において、時間外・休日労働が最長の労働者を確認したところ、1,694 事業場で1か月 80 時間を、うち 1,102 事業場で1か月 100 時間を、うち 222 事業場で1か月 150 時間を、うち 45 事業場で1か月 200 時間を超えていることが判明しました。違法な時間外労働が認められた事業場に対しては、是正に向けた指導が行なわれました。

厚生労働省では今後も、長時間労働の是正に向けた取組みを積極的に行っていくとしています。

## ★Q&A 「 36 協定 (時間外労働・休日労働に関する協定) の周知義務 」



**Q** : 監督署に届け出ている「36 協定」は、従業員に周知させなければならないのでしょうか。

**A** : 労働基準監督署に届け出た 36 協定は、労働者に周知させなければなりません。

なお、周知の方法については、次に掲げる方法とされています。

- ① 常時各作業場の見やすい場所へ掲示し、又は備えつること。
- ② 書面を労働者に交付すること。
- ③ 磁気テープ、磁気ディスクその他これらに準ずるものに記録し、かつ、各事業場に労働者当該記録の内容を常時確認できる機器を設置すること。

なお、周知させなかった場合、労働基準法第 106 条違反に当たり、30 万円以下の罰金が科せられます。

# 沖縄県医療勤務環境改善支援センター ニュースレター

平成 30 年 5 月 18 日発行 第 70 号

沖縄県医師会(沖縄県医療勤務環境改善支援センター)  
〒901-1105 南風原町字新川 218-9  
TEL.098-888-0087 / FAX.098-888-0089  
mailto:g1@ml.okinawa.med.or.jp

★ 労務管理トピック

医療労務管理アドバイザー  
社会保険労務士 名城 志奈

## 職業安定法が改正されました！ 採用担当者が押さえるべき4つの変更点！

職業安定法は、労働者の募集・就業指導・職業紹介・労働者供給などについて規定されています。求職者等が不利益を被らないことはもとより、求職と求人とのより適切かつ円滑なマッチングを進めていくことを背景に、4月に改正が行なわれました。求人募集を行うにあたって重要となるポイントは以下4点です。

### 1. 最低限明示しなければならない労働条件の追加 拡充された明示事項

従来よりある労働条件項目(業務内容、労働契約期間の定め有無、定めがあるときはその期間、就業場所、勤務時間、賃金、社会保険・労働保険)に加え、下記労働条件項目の明示が追加されました。

- (1) 雇用主の氏名または名称
- (2) 派遣労働者として雇用する場合は、その旨
- (3) 試用期間の有無、および、試用期間が発生する場合はその期間、期間中の労働条件
- (4) 裁量労働制を採用している場合にその旨、他条件
- (5) 固定残業代制を採用している場合にその旨、他条件



### 2. 労働条件に変更があった場合、変更内容を速やかに明示する(変更明示)

募集要項・条件が変更・削除・追加になった場合は、求職者／応募者に労働条件の変更内容を明示し、その理由を説明する必要があります。

### 3. 募集情報を適切に保存しておく

労働者の募集を行う場合、当初明示された募集情報・労働条件を、「その募集が終了する日」もしくは「その募集内容で労働契約を締結する日」までの間、保存することが義務づけられました。

### 4. 労働条件明示にあたって、遵守すべき事項の制定

- (1) 明示する労働条件は、虚偽又は誇大な内容としてはなりません。
- (2) 試用期間と本採用が一つの労働契約であっても、試用期間中の労働条件が本採用後の労働条件と異なる場合は、試用期間中と本採用後のそれぞれの労働条件を明示しなければなりません。
- (3) 労働条件の水準、範囲等を可能な限り限定するよう配慮が必要です。
- (4) 労働条件は、職場環境を含め可能な限り具体的かつ詳細に明示するよう配慮が必要です。
- (5) 明示する労働条件が変更される可能性がある場合はその旨を明示し、実際に変更された場合は速やかに知らせるよう、配慮が必要です。

★ Q&A



**Q** もし採用後、本人の希望等で求人内容と異なる労働条件になるときはどうすればよいですか。

**A** 虚偽の内容の求人を行なった場合、職業安定法により罰則もありますが、求人票に記載されたその時の労働条件は、その後の経営状況や労働者個別の状況によって、雇用する際の実際と異なるというケースはあり得ます。止むを得なく変更する時は、変更箇所が分かるよう丁寧な説明と合意が必要となります。



### ご存知ですか？

平成26年10月施行の改正医療法により、病院または診療所の管理者は、医療従事者の勤務環境改善等への取り組みが努力義務化されました。将来にわたり質の高い医療サービスを提供していくためには、医療従事者が健康で安心して働くことの出来る環境整備が必要です。

沖縄県医師会

# 医療勤務 環境改善 支援センター

平成27年3月2日より沖縄県医師会事務局内にみだし支援センターを開設しました。本センターには医療労務管理アドバイザー（社会保険労務士）及び医業分野アドバイザー等を配置し、医療機関の自主的な勤務環境改善に必要な支援を行います。

まずは「できるところから」始めてみましょう

相談

情報  
提供

助言

支援

医療勤務  
環境改善に  
関する研修会

労働時間管理（働き方・休み方等）  
労働安全衛生（スタッフ健康支援）  
施設環境整備（ハード・ソフト）  
キャリア形成支援等

診療報酬制度面  
医療制度・医療法制度面  
組織マネジメント・経営管理面  
各種補助メニューの活用提案

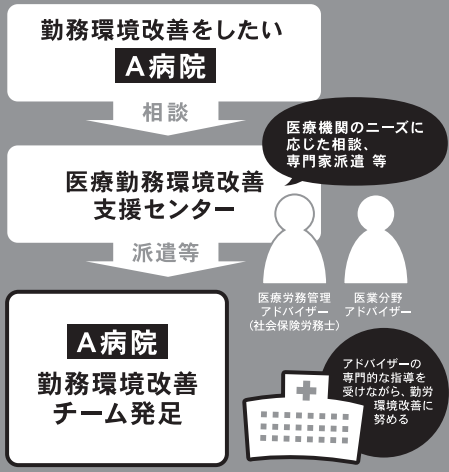
お問い合わせ

TEL:098-888-0087

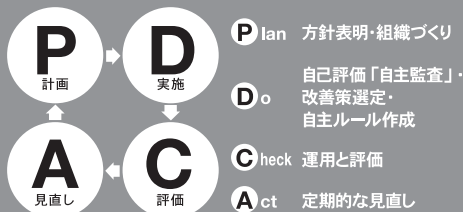
沖縄県医療勤務環境改善支援センター 〒901-1105 南風原町字新川1218-9  
FAX:098-888-0089 平日9時～17時（土・日・祝祭日・年末年始除く） 沖縄県医師会事務局内

いきいき働く医療機関サポートWeb <http://iryou-kinmukankyau.mhlw.go.jp/>

【医療勤務環境改善の手順】



PDCAサイクル



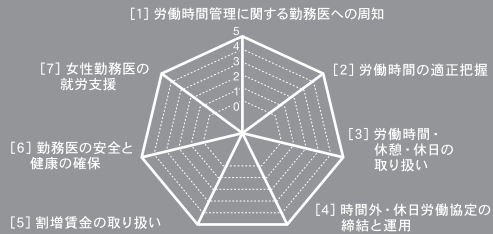
日本医師会 勤務医の健康支援に関する検討委員会  
**勤務医の労務管理に関する  
 分析・改善ツール**  
[http://dl.med.or.jp/dl-med/kinmu/kshien\\_tool201403.pdf](http://dl.med.or.jp/dl-med/kinmu/kshien_tool201403.pdf)



勤務医の労務管理チェックリスト

- [1] 労働時間管理に関する勤務医への周知
- [2] 労働時間の適正把握
- [3] 労働時間・休憩・休日の取り扱い
- [4] 時間外・休日労働協定(36協定)の締結と運用
- [5] 割増賃金の取り扱い
- [6] 勤務医の安全と健康の確保
- [7] 女性勤務医の就労支援

勤務医の労務管理チェックリスト分析チャート



沖縄県医師会事務局 沖縄県医療勤務環境改善支援センター 行

お問い合わせ TEL:098-888-0087 FAX:098-888-0089

無料

沖縄県医療勤務環境改善支援センター利用申込書

記入日：平成 年 月 日

所属機関	.....		
連絡先	TEL	内線	.....
担当者氏名	.....		
希望相談支援内容	医療労務管理面 ・ 医業経営面		
相談方法	電話相談 ・ 訪問相談 ・ 来所相談		
希望日	平成	年	月 日

沖縄県医師会

沖縄県ドクターバンクからのお知らせ

常勤・非常勤での勤務先を探している、ベテランの技を活かしスポット勤務で働きたいとお考えの先生方、または産業医として勤務できる事業所をお探しの皆様！沖縄県ドクターバンクに登録してみませんか？当バンクでは多くの求人情報の中から、皆様のご希望に合う医療機関をご紹介します。

☆下記の登録票に必要事項をご記入の上、沖縄県医師会事務局 業務1課まで、FAXにてお申し込みください。

FAX 番号:098-888-0089

沖縄県ドクターバンク登録票 (医師用)

\*項目は必須

受付登録日： 年 月 日 受付番号：

ふりがな *氏名	-----		*生年月日	(西暦) 年 月 日生	
*住所	〒 -				
*連絡先	電話(自宅または携帯)：				
	E-mail：				
*医籍登録日	年 月 日登録	保険医登録番号	医 号		
*医籍番号	第 号	*専門診療科			
資格	専門医資格	その他の資格			
*現在の状況	①就業中 ②休職中(産休・育休・病休) ③離職中 ④その他：				
現在の勤務先					
希望条件	就業形態	①常勤 ②非常勤(頻度 回/月程度) ③その他：			
	希望診療科				
	施設種別	①病院 ②診療所 ③その他：			
	希望地域	第1希望： <input type="checkbox"/> 那覇 <input type="checkbox"/> 南部 <input type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 北部 <input type="checkbox"/> 離島			
		第2希望： <input type="checkbox"/> 那覇 <input type="checkbox"/> 南部 <input type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 北部 <input type="checkbox"/> 離島			
	勤務希望時期	①今すぐ ②平成 年 月頃から ③未定			
	勤務時間	勤務可能な曜日	月・火・水・木・金・土・日		
		勤務可能な時間帯	時 分 ~ 時 分		
	当直勤務	①できる ②できない			
	希望業務内容	①病棟 ②外来 ③健診 ④パート ⑤臨時 ⑥産業医			
	給与	常勤務の場合	月給：	以上	
		非常勤の場合	日給：	以上	月給： 以上
		臨時の場合	時給：	以上	
保育所	①必要 ②必要なし				
再就業のための再研修	①必要 ②必要なし				
その他希望					

\*氏名、住所等の個人が特定される情報につきましては、個人情報保護関連法令に則り開示・公表また無断流用は一切いたしません。

《提出・問合せ先》  
〒901-1105 南風原町字新川218-9  
沖縄県医師会事務局  
業務1課 ドクターバンク担当  
TEL.098-888-0087 / FAX.098-888-0089





インバウンド医療通訳コールセンターの開設について

今般、沖縄県では、外国人観光客の医療問題に対応すべく、24時間365日対応の多言語コールセンター(名称: Be.Okinawaインバウンド医療通訳コールセンター)を開設し、電話通訳やメール翻訳サービスを提供(無償)することです。

また本年6月からは個々の医療機関では対応が困難なケースに対処するため、「医療機関向け相談窓口(実証実験/24時間365日対応/無償)」をスタートすることです。

各医療機関におかれましては、是非、有効利用下さいませようご案内申し上げます。




外国人観光客へ医療サービスを提供する沖縄県内の医療機関様

Be. Okinawa 医療通訳多言語コールセンター  
**電話医療通訳サービス**  
**メール翻訳サービスのご案内**

沖縄県では外国人観光客の急増に伴い、病気やケガ等で外国人観光客が医療機関を受診する件数が増加していることを受け、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの期間、外国人観光客に医療サービスを提供する県内の医療機関を対象に24時間いつでも利用できる **電話での多言語医療通訳とメール翻訳サービス** を開始します。

また、県内の外国人観光客の医療の現状や先進事例の把握・分析を行うことで、インバウンド医療体制の整備や、より外国人観光客を受け入れやすい環境づくりを支援致します。ぜひ、ご活用ください。

サービス内容① 

- ・ご来院の外国人観光客との**電話機**の受け渡しによる電話での医療通訳サービス

サービス内容② 

- ・メールでのやり取りによる**簡易**メール**翻訳**サービス

**TEL : 03-6635-0230**

**対象機関** 外国人観光客の受入にすでに取り組んでいる 又は取り組みたい県内の医療機関様

**対応言語** 通訳：英語 / 中国語 (北京語・広東語) / 韓国語 / タイ語 / スペイン語 / ポルトガル語  
翻訳：英語 / 中国語 (簡体字・繁体字) / 韓国語 / スペイン語 / ポルトガル語 / ベトナム語 / タイ語

**対応期間** 平成30年4月1日 ~ 平成31年3月31日 / 24時間体制





沖縄県 医療通訳対象施設向け

# メール翻訳サービスのご案内 2018.04

## 【 翻訳のご利用方法 】

### メール翻訳サービス

問診票、同意書、領収書などの院内書面（日本語→外国語）や問い合わせメール対応（外国語→日本語）などにご活用ください。

#### ① 対応言語

日本語 / 英語 / 中国語（簡体・繁体） / 韓国語 / ポルトガル語 / スペイン語  
ベトナム語 / タイ語

#### ② 文字数

1回分 原稿 A4 サイズ 1 枚以内

(文字の目安) 英語 / ポルトガル語 / スペイン語 / ベトナム語 / タイ語 100word

(文字の目安) 日本語 / 中国語 / 韓国語 200 文字

#### ③ 翻訳件数

1 施設あたり 10 件 / 月まで

#### 翻訳ご依頼時の注意事項

※1 言語 1 件とカウントします。

※契約書等、法解釈を含むものの翻訳は対応いたしかねます。

#### ④ 納品時間

72 時間以内に納品

※文字数により、納品時間をご相談させていただきます。

#### ⑤ 依頼方法

専用メールアドレス (okinawa\_mi@bricks-corp.com) まで、メールにてご依頼ください。



**Be. Okinawa 医療通訳多言語コールセンター**

翻訳依頼データ受付メールアドレス

**okinawa\_mi@bricks-corp.com**

注意事項) こちらの依頼データ受付メールアドレス・お電話番号は対象施設様にも公開してあります。  
一般の方からの電話はお受けできませんのでお取り扱いにはご注意ください。



# 大切なお知らせ！



Be.Okinawa インバウンド医療通訳コールセンター

**【医療機関向け相談窓口（実証実験）】を  
2018年6月1日より開始いたします。**

沖縄県では外国人観光客の急増に伴い、病気やケガ等で外国人観光客が医療機関を受診する件数が増加しております。それに伴い以下のような事例が発生しております。



**事例**

- ① 外国人観光客が死亡した際の対応方法  
国によって対応方法が違う・・・・・・。
- ② 外国人観光客が救急搬送され、本人は診療後に退院、帰国を希望  
退院後に何かあった場合、医療機関側の責任は・・・・・・。  
医療機関としては、安静が必要な状況・・・・・・。
- ③ 外国人観光客の急病入院が長期化  
ビザの延長手続き、医療費支払、相手国への緊急搬送・・・・・・。

医療機関向け相談窓口では、各医療機関で個別対応した事例をヒヤリングし、沖縄県内の医療機関全体の外国人観光客の事例を集約、情報共有にて、医療機関からの問合せに、即対応出来る体制を構築していく予定です。

対象期間	外国人観光客の受入に既に取組んでいる又は 取組みたい県内の医療機関様
対応期間	平成30年6月1日～平成31年3月31日/24時間体制
電話番号	03-6635-0231

**問い合わせ先**

医療通訳サービス運営事務局（株式会社ブリックス・株式会社シャイニング）

TEL: 098-868-5230 (平日 9:30~18:00) FAX: 043-332-8868 E-mail: okinawa@bricks-corp.com

〒900-0032 沖縄県那覇市松山1丁目4番12 株式会社シャイニング内

沖縄県医療通訳サービス 2018/4



**生涯教育／プライマリ・ケア**

平成 29 年 7 月 1 日

○字数制限

生涯教育 6,000 字以内とし、冒頭に 400 字程度の要旨をつけて下さい。

プライマリ・ケア 2,500 字以内

(図表 1 枚を 400 文字数に換算する必要がある)

○内容

生涯教育は、原則学術・実地医家にとって有用性の高い総説論文

プライマリ・ケアは、病診連携、病病連携等に資していただけるような、日常的な症状に関するミニレクチャー的な内容。

○原稿の書き方

①原稿はできるだけ Word、Excel、PowerPoint にて作成して下さい。

②原則として常用漢字、現代かな使い、算用数字を使用して下さい。

③図、表、写真の挿入場所を文中に指定して下さい。

④図表にはタイトルをつけてください。

⑤写真、図、表は原則として 10 枚以内とし、そのまま製版出来る鮮明なもので、特に写真は明瞭なものでご提出下さい。

⑥人を対象とした研究については、ヘルシンキ宣言を遵守したものであること、また症例を提示する際（症例報告）は、患者さんのプライバシーの保護やインフォームドコンセントなどに関する倫理的な問題に十分配慮されていること。

個人が特定され得る疾病に関しては、本人の同意を得ようご配慮下さい。

○文献

引用文献は最小限度（原則として 10 以内）とし、論文中にでてくる順に番号をつけ、末尾に以下の形式で一括して下さい。本文中には、引用部の右肩に 1) 2) 3) …の番号を付してください。引用の図表は出典を明記して下さい。

著者は複数の場合は筆頭者、他で記入下さい。

引用文献の記載項目並びに順序

○雑誌の場合

著者名：論文題名. 雑誌名 発行年；巻：ページ.

Ahonkhai VL, et al : Failure of pneumococcal vaccine in children with sickle-cell disease. N Engl J Med 1979 ; 301 : 26-27.

○単行本の場合

著者名：書名. (版数), 発行所, 発行所の所在地, 発行年；引用ページ.

Koch FC, et al : Practical Methods in Biochemistry. 2nd ed, William Willkins, Baltimore, 1948 ; 212 (or 212-215) .

○シリーズなど

執筆者名：執筆部分題名. 編者名, シリーズ名, 巻数, 発行所, 発行地, 発行年；引用ページ.

Kovec A : The liver and spleen. ed Bolinger RE, In Guide to Diagnostic Imaging, vol 1, Medical Examination Publishing Co Inc, New York, 1982 ; 123-140.

○ウェブサイトの場合

執筆者名 (編者名)：サイト名. URL (最終閲覧日)

運動器の 10 年・日本協会：学校での運動器検診の手引き. [http://www.bjd-jp.org/medicalexamination/guide\\_0.html](http://www.bjd-jp.org/medicalexamination/guide_0.html) (2016 年 8 月 16 日閲覧)

**月間 (週間) 行事お知らせ**

○字数制限：2,000 字以内

○内 容：医療関係の行事等について

**発言席**

○字数制限：2,500 字以内

○内 容：会員の先生方のご意見や主張等

**勤務医 / 臨床研修医**

○字数制限：勤務医 2,000 字以内、臨床研修医 1,500 字以内

○内 容：勤務医・臨床医の先生方からのご意見・ご要望

**地区医師会**

- 字数制限：1,000 字以内
- 内 容：各地区医師会の活動状況  
(例：テレビ番組やラジオ番組の放映、かかりつけ医推進事業等の厚労省モデル事業や独自の院内活動等)

**若 手**

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：今後の進路を決める先生方へのアドバイス等について（若手医師への提言、日常診療のコツ、開業顛末記等）

**随筆 / 新春干支随筆 / 緑陰随筆**

- 字数制限：随筆 2,500 字以内、新春干支随筆・緑陰随筆 1,500 字以内
- 内 容：日常診療のエピソード、青春の思い出、一枚の写真、趣味などの他、紀行文、特技書評、新年の抱負など

**本の紹介**

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：感動した、生き方が変わった、診療が変わった、新たに真実を知った本等々、会員の皆様の座右の本の紹介

**いきいきグループ紹介**

- 字数制限：1,000 字以内
- 内 容：各研究会、スポーツ同好会や摸合等の活動紹介

**身近な闘病記**

- 字数制限：2,000 字以内
- 内 容：ご自身又はご家族の病気療養の経験談について

**追悼文**

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：お亡くなりになられた先生への追悼

**広 告**

- 沖縄県医師会報の品位、及び体制を損なわぬものとし、採否については広報委員会で審議のうえ決定する。

**投稿の方法**

1. 会報への投稿の第一執筆者は、原則として沖縄県医師会会員であること。
2. 原稿には題名、氏名、勤務先(所属)を明記して下さい。
3. 図・表・写真は原則モノクロ掲載とし、カラーの場合は実費をご負担願います。
4. 送付方法は出来ましたらメール送信又はCD-R等での送付をお願いします。
5. 同一会員の原稿掲載回数は、1期(4～7月号)、2期(8～11月号)、3期(12～3月号)の各期ごとに1編のみ。
6. 写真の解像度は350以上をお願いします。表紙写真に関しては、会員本人撮影のものとする。
7. 掲載の採否は広報委員会で決定し、内容によっては原稿の修正等をお願いする事があります。

**著作権**

本誌並びにホームページに掲載される著作物の著作権は沖縄県医師会に帰属します。

**送付先・問い合わせ先**

沖縄県医師会 庶務課  
〒901-1105 南風原町新川 218-9  
TEL：098-888-0087 FAX：098-888-0089  
E-mail：kaihou@ml.okinawa.med.or.jp

琉球大学の代表として広報委員を拝命してから1年半以上が経過いたしました。沖縄県医師会の皆様の熱心な取り組みに感銘を受け、日々勉強させていただいております。この6月12日にはシンガポールでアメリカ合衆国のトランプ大統領と北朝鮮の金正恩書記長の歴史的な会談が行われました。まだまだ道のりは長いと思われませんが、アジア地域の平和を目指した取り組みの第一歩として、多くの課題が少しずつ解決されていくことを祈りたいと思います。

県医師会報7月号は堀川恭平先生が撮影された宵闇の大宰府天満宮の表紙でスタートします。田名毅先生の「第10回沖縄県医師会研修医歓迎レセプション」では、研修医を代表する先生方の将来への抱負が報告されており、医師20年目となった私も心新たな気持ちで読ませていただきました。

出口宝先生の「日本医師会 CBRNE（テロ災害）研修報告」の報告では、2020年の東京オリンピック、パラリンピック、2019年のラグビーワールドカップに向けて、テロ災害が地域医療に無縁でなく、対応を学ぶ必要性が非常に高いことを勉強させていただきました。今年度中に CBRNE 研修会が行われますので、会員の皆様の御参加を強くお勧め致します。

平成29年度第4回マスコミとの懇談会「沖縄における緑内障の有病率」では琉球大学眼科学講座准教授の酒井寛先生の御講演について白井和美先生が報告してくれています。県内には多くの原発性閉塞隅角緑内障（PACG）の患者さんが多く、中途失明の原因となる重大疾患で

あるため、早期発見並びに予防的手術が重要ということを知っていただき、大変興味深い内容でした。

本竹秀光先生が司会をされた座談会では、ストレスチェックがテーマになりました。山本和儀先生の「沖縄労働局、産業保健総合支援センター、医師会、検診センターが一体となって、全国ワースト1である沖縄県の実施率、受検率の低さを絶対抜け出す覚悟で進める」という御意見は非常に大事だと思われました。

生涯教育では伊志嶺朝彦先生が「慢性閉塞性肺疾患（COPD）症例における呼気NO（FeNO）測定と治療の実際」を執筆してくれました。FeNO測定が非侵襲的であり、喘息合併の補助診断に有用であること、吸入ステロイドを併用すべきCOPDを鑑別するために積極的に利用すべきことが示されました。

また嘉数朗先生が執筆されたプライマリ・ケアコーナーの「末期心不全高齢者に対する在宅医療」では、高齢化社会とともに末期心不全患者の在宅医療が増加していくにも関わらず、在宅医療の現場で心不全を専門的に診ることが出来ない現状があることが示されました。末期心不全患者の緩和ケアに関して、医師会や自治体を中心となって多職種へ啓発することの重要性が提言されました。

皆様から多くの寄稿をいただきました。私自身も大変勉強になる内容でした。どうもありがとうございました。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

広報委員 清水 雄介

